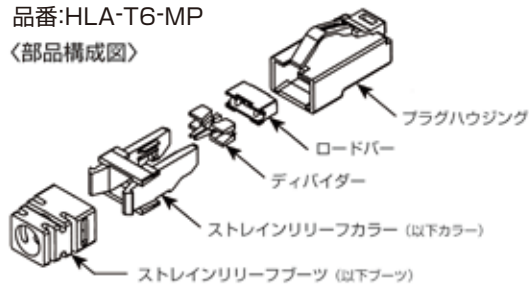


ピン配列 T-568Aの場合

カテゴリ6対応モジュラープラグ 取扱説明書

品番:HLA-T6-MP

〈部品構成図〉

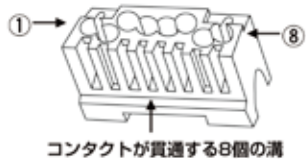


■成端仕様

- 外被覆の外径は5.08~6.35φmm
- 心線は0.5φmm (24AWG)
- 心線絶縁径は1.016φmm
- コンタクトは単線及びより線の成端が可能
- T568A結線の場合は茶色対の対角側が緑色対
- T568B結線の場合は茶色対の対角側が橙色対

ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい



ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい

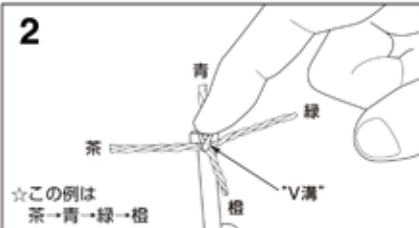


1 先にブーツとカラーを通しておく!!



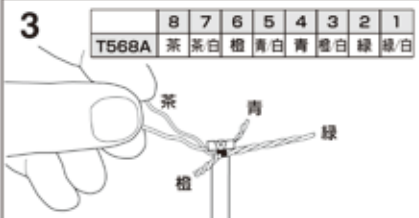
- ◆ ブーツとカラーを最初に挿入します。
- ◆ ケーブル端から40mmほど外被覆をむきます。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます (放射状)。
- ◆ 中央に介在物 (十字介在) が有る場合には電線を曲げた根本から5mm程の所でカットします。

2



- ◆ 茶色対の対角側が緑色対となるように対の位置合わせをし、再度各対を十字に開きます。
- ☆ 対色の順番が茶→橙→緑→青になる線端も有ります。
- ◆ ディバイダーのV溝と橙色対が合うようにV溝の向きと位置を確認します。(十字介在が有ればディバイダーをその中心部分に差込みます)

3



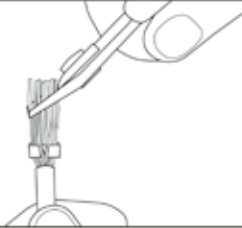
- ◆ 各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。(⑦番、⑧番と②番、①番の溝にハメ込む)

4



- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆ 橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせをします。(④番、⑤番と③番、⑥番の溝に合わせる)

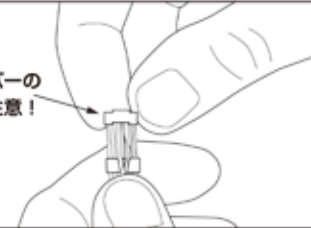
5



- ◆ 各対の線をディバイダーの先端までよりを戻し真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーの先端から10mmほど開けて電線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

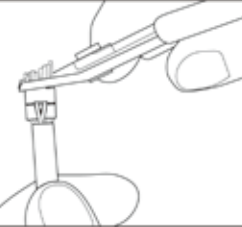
6

ロードバーの向きに注意!



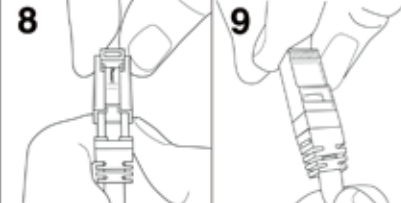
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。
- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。

7



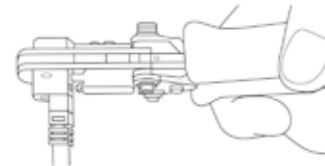
- ◆ ケーブルとディバイダー、ロードバーが垂直に接して真っ直ぐになっている事を確認します。
- ◆ ロードバーの先端に合わせて余分な電線をカットして予備加工が完了します。

8



- ◆ カラーの向き (部品構成図を参照) を確認し、ブーツと共に引き寄せて組み合わせます。
- ◆ プラグハウジングのコンタクト①番とケーブル側の①番を合わせてハウジングに挿入します。

10



- ◆ 目視でピン配列に誤りがないかを確認してからかしめ工具で圧接して作業は完了です。
- ◆ 他端も同様の作業を行ってから別売のテスター等で導通確認を行ってください。

協和ハーモネット株式会社

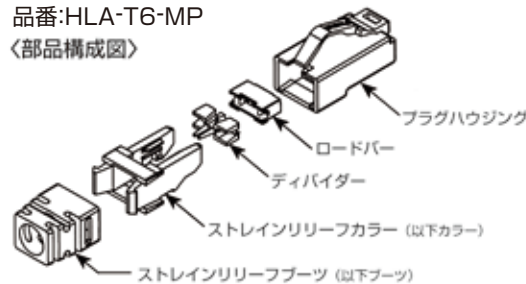
Harmonet ■ は当社のオリジナルブランドです。

ピン配列 T-568Bの場合

カテゴリ6対応モジュラープラグ 取扱説明書

品番:HLA-T6-MP

〈部品構成図〉

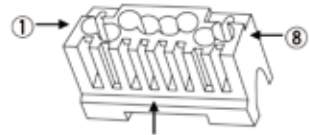


■成端仕様

- 外被覆の外径は5.08~6.35φmm
- 心線は0.5φmm (24 AWG)
- 心線絶縁径は1.016φmm
- コントクトは単線及びより線の成端が可能
- T568A結線の場合は茶色対の対角側が緑色対
- T568B結線の場合は茶色対の対角側が橙色対

ロードバー

挿入時の向きに注意して下さい



コンタクトが貫通する8個の溝

ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい

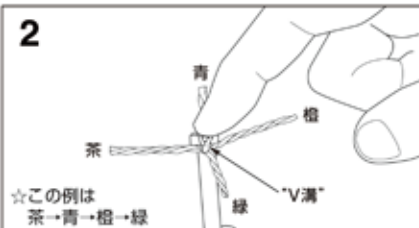


1 先にブーツとカラーを 通しておく!!



- ◆ ブーツとカラーを最初に挿入します。
- ◆ ケーブル端から40mmほど外被覆をむきます。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます (放射状)。
- ◆ 中央に介在物 (十字介在) が有る場合には電線を曲げた根本から5mm程の所でカットします。

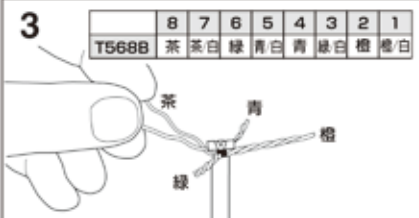
2



☆この例は
茶→青→橙→緑

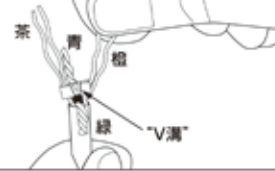
- ◆ 茶色対の対角側が橙色対となるように対の位置合わせをし、再度各対を十字に開きます。
☆対色の順番が茶→緑→青になる線端も有ります。
- ◆ ディバイダーのV溝と緑色対が合うようにV溝の向きと位置を確認します。
(十字介在が有ればディバイダーをその中心部分に差込みます)

3



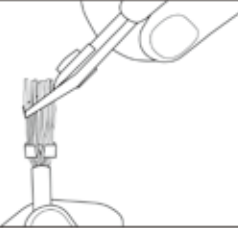
- ◆ 各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。
(⑦番、⑧番と②番、①番の溝にハメ込む)

4



- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆ 緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせをします。
(④番、⑤番と③番、⑥番の溝に合わせる)

5



- ◆ 各対の線をディバイダーの先端までよりを戻し真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーの先端から10mmほど開けて電線を斜めにカットします。
(ロードバーの挿入が容易になります)

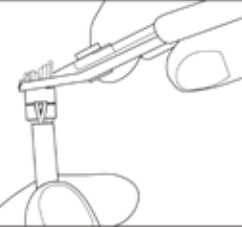
6

ロードバーの
向きに注意!



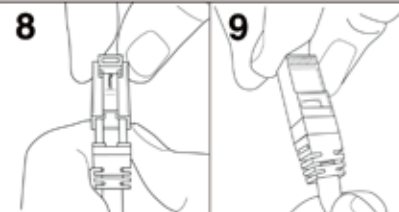
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。
- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。

7



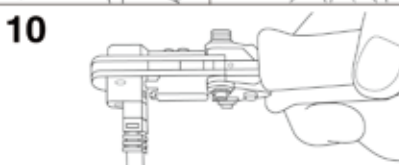
- ◆ ケーブルとディバイダー、ロードバーが垂直に接して真っ直ぐになっている事を確認します。
- ◆ ロードバーの先端に合わせて余分な電線をカットして予備加工が完了します。

8



- ◆ カラーの向き (部品構成図を参照) を確認し、ブーツと共に引き寄せて組み合わせます。
- ◆ プラグハウジングのコンタクト①番とケーブル側の①番を合わせてハウジングに挿入します。

9



- ◆ ロードバーがプラグハウジングの先端にしっかり挿入された事を確認してからカラーがラッチされるまでブーツと共にしっかり押し込み固定します。
- ◆ 目視でピン配列に誤りがないかを確認してからかかしめ工具で圧接して作業は完了です。
- ◆ 他端も同様の作業を行ってから別売のテスター等で導通確認を行ってください。

協和ハーモネット株式会社

Harmonet ■ は当社のオリジナルブランドです。